

# 留学体験レポート

情報文化学科 小島伊蒨

私が留学中に行った韓国の光地

## 景福宮/경복궁

景福宮は 1395 年に創建した朝鮮王朝第一の法宮、つまり王の住む宮廷でした。入場チケットは 3000 ウォンです。とにかく見所がたくさんあります。

韓国を代表する古宮のひとつで、とても広く全部をみようとするに 2 時間近くかかります。

光化門・興仁門の場では、日、10:00~定刻になると、朝鮮時代の守門軍の交代儀式を再現した王宮守門交代儀式が行なわれています。

儀式の後、統衣を着た守門と一に写真を撮ることができます。この守門交代式は誰でも無料で見ることが出来ます。

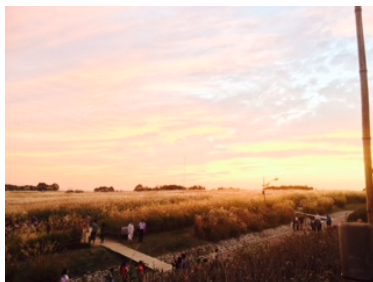
景福宮ではまるでタイムスリップしたかのような時間を過ごすことが出来ました。また、夜間開放も期間限定でやっていて、昼とはまた違う姿を見ることができます。韓国にたらずの方がよい光地の一つです。



## ハヌル公園/하늘공원

ハヌル公園は、2002 年の第 17 回ワールドカップサッカー大会を記念して、棄物の埋立地だったところを 1999 年 10 月に自然の生態へ修復を開始し 2002 年 5 月 1 日に開園しました。

平和公園、ナンジ川公園、暖地漢江公園、夕け公園とともにワールドカップ公園の中の 5 大公園の 1 つです。ハヌル公園のハヌルは韓国語で空の意味で、その名前の通り 5 大公園の中で、一番



空に近く山の頂上にあります。

入場料は無料ですが公園まで

たどり着くのが大変でした。頂上までは歩いていくか、電気自動車（片道 2000 ウォン）が選べますが、292 段の階段を登らなければいけないので体力に自信がない方は電気自動車をお勧めします。一面のススキはもちろん綺麗でした



が、頂上から見えるソウルの夜景が本当に綺麗でした。夕方くらいに行くのをお勧めします。

#### 梨花洞 壁画村 이화동

演劇とアートが集まる街、大学路。そんな大学路駅から歩いて5分くらいにある梨花洞は、ソウルで数少なくなったといわれる「タルトンネ」の一つです。タルトンネとは直訳すると月の村という意味で、月に届きそうなところにあるという事からこう呼ばれ、裕福ではない人達がひっそりと暮らすエリアと言われていました。そこで暮らす人たちの生活が少しでも明るいものになるように始まったプロジェクトだそうです。数多くの芸術作品が展示されていたり、家の壁などに壁画が描かれてお



り「路上美術館」と呼ばれています。ここでは「屋根裏部屋の皇太子」「コーヒープリンス1号店」や「華麗なる遺産」の撮影地としても有名です。私が行ったときは秋でしたが急な坂がたくさんあって暑いくらいでした。あと休日はやはり混むので平日に行くと人が少なく、誰もいない階段などを撮ることができます。

